

全国農政連推薦・県農政連公認
参議院議員藤木しんやの

永田町でも「百姓宣言」

「本当に大事なことは何か」

「多様な農業経営の発展に資する政策の強化」

4月24日東京都内で「食料・農業・地域政策確立全国大会」が開催されました。

この大会では①食料安全保障の確立②多様な農業経営の発展支援③災害に強い営農基盤の実現④地域政策の拡充が、大きな柱であったと思います。

熊本県の基幹産業は農業です。地域農業を次世代へ継承することが重要です。

しかし、農村部では気候風土や地理的条件などの制約があり、現在の農政が目指す規模拡大や企業による農業生産への参入といった施策の推進にミスマッチが生じている地域も少なくありません。

農業生産を維持するためには、中心的な担い手だけでなく、小規模でも営農意欲のある農家や農業を志す新規就農者などに対して、持続的な農業経営に向けた支援強化することが大切です。また集落営農組織など地域で共同して取り組む場合にも同様の支援が必要

です。国際的に農業は、農業振興だけでなく、地域社会や環境・文化の振興という面で大きな役割を果たしていると呼べられています。

なかでも特に家族農業をはじめとした多様な主体による協同活動が注目されています。地域ぐるみで支え合う農業の姿など、多様な主体が活躍し地域が発展する農業を実現したいと考えています。

【子ども達のために農業を考える】

日本の食料自給率が過去最低となる水準で低迷する中、農林水産業の生産基盤の縮小に加え、相次ぐ自然災害の発生、国際貿易交渉の進展など、国民全体で農業を食料安全保障という観点から考えていかなければなりません。同時に、国民が理解を深め、国全体で農業を応援していくという機運を高めていく必要があります。

私も孫と接していると幼少期の児童が食農教育に触れる機会はかけがえないものだと感じます。

生産現場と消費者を繋ぐ取り組みをJAでは既に取り組んでいます。こうした取り組みを積極的に支援し、次世代を担う子ども達のためにわが国の食料自給率の向上、農業の発展に向けて頑張ります。

参議院選挙に向けて力を合わせましょう！



国会内で農政課題を協議

全国・県農政連推薦
参議院議員山田としおの

農政問題に斬り込む

「熊本県のJAを訪問しました」

「女性部の「明日輝くために」の

歌声に感動」

5月13日～14日にかけて、熊本県内のJAを回らせていただきました。巡回にあたり、中央会の宮本会長と経済連の加末会長にご同行いただき、感謝申し上げます。

阿蘇から菊池・鹿本と、圃場が綺麗に耕作されている風景を見て、その生産力に感動しました。

JAでの集まりは、農業者が多く、皆さん、農業の将来を支える人です。

そして、農業の経営所得安定対策についての日米・日仏の比較について大変関心が深い。我々は、地域重視、家族農業重視の農業国であるフランスやスイス等の取り組みを評価すべきです。農業者の農業所得に占める補助金の割合も、日本は30%程度ですが、フランスは95%、イギリスは91%、ドイツは70%と、いかにヨーロッパの国々が家族農業を大事にしているかがわかります（東大の鈴木先生のグループによる報告書）。

私のこの報告に対して、皆さん大きな関心を示していただき、終わってからの拍手も多く、握手の際も「頑張りました」と声をかけていただき

きました。ありがとうございました。訪問先の一つ天草は、本当に濃い緑に包まれた島で、遠くに見える多くの島々も海に島影を映し、美しい景観でした。

JAあまくさを訪ねましたが、ちょうど女性部大矢野総支部の総会も開かれており、皆さんの「明日輝くために」の歌声が聞こえてきました。天草四郎の折りの島での合唱は、皆さんの心の協同を示すようで感動的でした。

皆さんから頂いた要望の実現を目指すとともに、美しく力強い熊本県の農業を守り、発展させていくため全力をあげます。



農業者の皆さまの前で国政報告